



平成27年度の沼津介護支援専門員連絡協議会新体制役員紹介

会長挨拶

会長 コスモス沼津 良辺俊彦

介護予防・日常支援総合事業の進捗状況や平成30年に向けての介護保険改革の内容に驚愕の毎日を通す良辺俊彦と申します。今年度は会長就任から早くも4年目に突入しています。連協の活動目標である「職能団体としての社会的インフラになる」「会員の資質の向上につながる活動」ができていたかを考えると50点くらいですかね。今年度は残りの50点を上積みできるように積極的に活動して参りますので宜しくお願い致します。この地域の包括ケアシステムでは要になる職能団体になれるようにしていきたいです。益々の会員お一人お一人のご協力をお願い致します。



副会長

副会長 エスコート参番館 一ノ宮五郎

この度の総会を受けて協議会の副会長を拝命致しました。在宅介護支援センター・エスコート及び小規模デイサービス等を運営しておりますNPO法人絆の一ノ宮五郎と申します。もとより力不足では有りますが、良辺会長に呼吸を合わせて会員諸氏の支えになる様な協議会の発展の為に、全力で努力して参りますので宜しくお願い致します。介護保険を始め高齢者福祉のスキームそのものが、まだまだ過渡期であり激動の変化を続ける現在、「パーソンセンタードケアのキーマン」である介護支援専門員の質が今ほど問われている時はないと思います。そんな皆様のお役に立てる協議会を目指して参りたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。



南部地区活動委員会

委員長 まある 井上裕樹

はじめまして。27年度より南部地区の委員長を務めさせていただきます。在宅介護支援事業所まあるの井上と申します。よろしくお願い致します。地区委員会では、『顔の見える関係づくり』をモットーに、地域のケアマネが、気兼ねなく話し合える、情報交換や悩み相談の場として活用できる、そんな会にしていきたいと考えています。また、地域で出た課題を連絡協議会へと上げていきたいと考えています。皆様のご参加をお待ちしています。



その他役員に関しては当協会ホームページをご覧ください

- 1 戸川美津子
- 2 ひだまりの郷居宅介護支援事業所
- 3 通所リハビリテーション介護職員
- 4 2カ月
- 5 ふたご座・B型

- 1 後藤雅子
- 2 友愛居宅介護支援事業所
- 3 介護職員
- 4 1年7カ月
- 5 水がめ座・A型

- 1 山本愛子
- 2 介護老人保健施設おおひら
- 3 介護福祉士
- 4 介護老人保健施設介護職員
- 5 うお座・B型

- 1 佐藤紀嘉
- 2 三浦地域包括支援センター
- 3 介護福祉士
- 4 4年6カ月
- 5 てんびん座・B型

- 1 大橋慶子
- 2 ケアプランセンターアイケア沼津
- 3 介護福祉士(施設)
- 4 6カ月
- 5 さそり座 A型

新入会員の紹介

1名前2事業所名3ケアマネジャーに従事する前の職業や有資格4ケアマネジャー歴5星座と血液型

- 1 中野泰久
- 2 伊豆箱根鉄道株式会社エミーズ原
- 3 社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士
- 4 エミーズ原施設長
- 5 ふたご座・O型

- 1 鈴木高男
- 2 ハウスケアサービスあい
- 3 歯科技工士・介護福祉士
- 4 3年6カ月
- 5 かに座・O型

- 1 下山洋子
- 2 白鳥介護支援サービス駅南店
- 3 幼稚園教諭デイサービス職員
- 4 7年
- 5 かに座・O型

- 1 加藤 忍
- 2 沼津ケアセンター白鳥
- 3 介護福祉士
- 4 7年
- 5 かに座・B型

- 1 関根孝江
- 2 グループホームくずのき美容師
- 4 半年(計画作成は2年経験あり)
- 5 さそり座 B型



エミーズ原

伊豆箱根鉄道の介護

「エミーズ原」では看護、リハビリ、相談等経験ある職員を配置し、住み慣れた地域で安心して通所できるよう、皆さまのご要望に応える施設づくりに努めてまいります。

お問合せ

伊豆箱根鉄道の介護
エミーズ原 TEL 055-967-1285 FAX 055-967-1295
〒410-0306 静岡県沼津市大塚1134

デイサロン・エスコート参番館

1日10名の小規模デイサービスです。外見は、ごく普通の洋館です。昨年11月に沼津市立第3中学校のすぐ横にオープンしました。フロアは総ヒノキ張りのサロンの様な洋室と、掘りごたつや広い縁側のある和室の2部屋をご用意しております。別荘の様なサロンで他の利用者の方々と絆を深め、共に支え合い、新たな生きる喜びを見つけて頂ける様に支援して参ります。



【連絡先】
TEL: 055-935-0330
担当: 一ノ宮
沼津市下香貫揚原762-21

ホームページ担当より

当協議会のホームページは、平成26年9月の開設以来、会員の皆様にとって少しでもお役に立てるよう、迅速、頻回な更新に努めております。しかしながら、閲覧数も少なく、まだまだその役目を果たせているとは言えない状況です。今後も皆様に少しでも興味を持っていただけるホームページを目指して、内容の見直しや、レイアウトの変更、新しいコンテンツの導入など、少しずつ手を加えていく予定ですので、更なるご活用をよろしくお願い致します。尚、先般、トップページにお問い合わせフォームを設けましたので、ご意見、ご感想をいただくと嬉しいです。

～「ボーリング大会」のお知らせ～

会員同士の親睦を深めるためにボーリング大会を、以下のとおり開催いたします。

皆様の参加をお待ちしております。ご家族ご友人との参加も歓迎します！
(別紙申し込み書参照願います。)
2月20日(土) 18時開会
於: ジョイランド原



【編集後記】

暖冬と言われておりますが、日々厳しい寒さが増しております。どうか、ご自愛し利用者の方々の為に頑張りましょう！本誌へのご意見・ご要望がございましたら、お気軽にご連絡ください。【927-2500:アースサポート沼津 片岡】

【編集メンバー】

片岡真美・石渡さおり・岡田由佳
村野成紀・田村尚子・長橋秀樹
杉本るみ・森 慎吾・渡邊軌子
一ノ宮五郎



社会活動委員会 委員長
沼津市立高尾園

深沢 康久

社会活動委員会では、介護支援専門員の社会的地位の向上を図るために社会貢献活動などを行う委員会として発足しました。今年度は、認知症徘徊行方不明者の捜索活動(オレンジレスキュー)や徘徊模擬訓練の実施、災害時等に向けた事業継続計画(BCP)の作成と研修(安否確認利用者一覧票、災害利用者台帳、災害時リスク・アセスメントシート)、救急救命講習会の実施などに取り組んでいきます。無理のない程度にしっかりと行う基盤づくりが中心ですが、委員の皆様のひとり1人の力を合わせて取り組んで参りたいと思います。私たちと一緒に活動して下さる方をお待ちしています。

倫理・研修委員会 委員長

小規模多機能型居宅イーケア中里 芹沢隆宏

倫理研修委員会では、研修企画を通じて会員の皆様の介護支援専門員としての倫理意識を高め、スキルアップを図ると共に、会員の皆様の地域の社会資源とのネットワーク構築の手助けにもなればと考え、活動しております。委員として企画に携われば自身のスキルアップやネットワーク構築にもより一層の意義があるかと思っておりますので、興味のある会員の方は是非声をかけていただければと思います。

今年度の抱負といたしましては、関連する制度の改正や地域包括ケア構築の動きといった時事の流れに沿いつつ、昨年度に引き続き医療や他の専門職種との多職・種連携をテーマに、委員会独自の企画にとどまらず、他の団体との共催にも積極的に関わっていかうと考えておりますので、今年度お願いいたします。

専門委員会

業務支援委員会では行政や他職種、他専門委員会との連携を図り、ケアマネの日常業務等への助けとなれるよう活動を行なっています。現在の主な活動としては、ホームページ上にアップされている「地域資源マップ」の追加・修正情報の発信と、会員の皆さん向けの情報提供です。活動内容は模索している状況ではありますが、少人数の委員会メンバーならではの活動ができたと思います。委員会の打ち合わせでは、不定期ではありますが特別な茶菓子を用意しています。委員会への新規のご参加、お待ちしております。

お知らせ

業務支援委員会及び地域活動委員会のアンケート結果はホームページに掲載されておりますのでご覧下さい。

業務支援委員会 委員長

千本居宅介護支援事業所 小田圭一

広報交流委員会は、今年度15名で委員の活をスタートしました。委員全員で集まるというのは、なかなか難しいのですが、年2回の広報誌作成は一人一人役割を持ち、全員参加にて取り組んでいます。

昨年度は、初めての試みとして、社会活動委員会の共催にて『地引網』を行いました。天候にも恵まれ、お子さん連れの会員の方にも参加して頂き、「楽しかったです。」との声が聞かれました。今年度は『地引網』に加え2月20日に『ボーリング大会』の開催を企画しております。

広報誌作りや交流会の企画に興味のある方は、ぜひ一緒に活動に参加しませんか？ご参加お待ちしております。

広報誌のバックナンバーは当協会のホームページに掲載されております。

広報・交流委員会 委員長

アースサポート沼津 片岡真美



介護支援専門員の皆さんにお願いしたい事

下石田かもめ薬局 池田靖啓



日頃は薬剤師会活動に多大なるご支援ご協力をいただきありがとうございます。

さて、現在65歳以上の高齢者だけで年間475億円もの医薬品がのみ残されている一方で高齢化の伸展により認知症患者も年々増加しています。無駄を削り必要な分野にどう分配するか？が医療・介護を含めた社会保障制度の維持・拡充の鍵になると考えられます。さらに本来「飲むべき」薬を「飲めないor飲まない」ことで生ずる治療上の不具合や医療安全上の問題もあります。

「たんすを開けたらクスリの山・・・」でお困りの際には、ぜひ薬剤師にご相談ください。その際に使ってもらおうと話が早い(かも知れない)用紙を作成しました。下記のホームページからダウンロードができます。また山薬以外にも薬に関する相談や出前講座など、地域の薬局・薬剤師をもっとご活用ください。

<http://ships2013.com>

「SHIPS(静岡県のより良い在宅医療をめざす薬剤師集団)」

下石田かもめ薬局 kamome-pharmacy@ny.thn.ne.jp
〒410-0022 沼津市大岡836-20 Tel. 055-929-7763

～シリーズ ケアマネの呟き part 1～

80歳の父と75歳の母。立派な高齢者である。しかし、自分の親はいつまでも元気だと思い込んでいた。

今年初め。実家にかけたはずの電話。ん？声が違う。かけ間違えたか・・・と思った瞬間「お母さんが倒れて救急車で運ばれたのよ！」隣に住むおばさんの声だった。

頭の中が真っ白になるというのはこういうことかと人生で初めて知ったように思う。父からの電話でやっと我に返る。「脳出血だった。ここの病院だと対処できないらしい。救急車で沼津の病院に運ぶから！」そう聞いて、咄嗟に現金と印鑑をバックに入れ(何故なのかは謎)搬送先の病院へ向かった。

救急外来へ運ばれていく母。その後、着のみ着のままひとり救急車から降りてきた父を見てはっとした。自分の親は高齢者世帯だったんだと今更気づく。自分の愚かさに涙がこみ上げた。足の震えが止まらない。ふと誰かに話を聞いてほしくなった。頭に浮かんだのはケアマネジャーだった。きっとこの気持ちに寄り添ってくれる、きっと励ましてくれる、きっと力になってくれる、そんなふうにしたのだった。

幾度かの命の危機を乗り越え8ヶ月後在宅復帰を果たした母。そして私は、主婦業と母親業、ケアマネと介護者の四立をすることになった。正直、仕事を辞めようと思ったこともある。でも、あの日、我を失って混乱していたあの時に、頭に浮かんだケアマネジャーという職業に誇りをもって、もう少し頑張ってみようと思っている。



“当連絡協議会LINE”を知っていますか？

沼津市立高尾園 施設長 深沢康久

もしもの時に力を貸してくれる仲間がいます。はじまりは、徘徊行方不明者捜索の連絡網からでした。メンバーへの一斉メール送信で実際に何名かの高齢者を保護することができています。つながりが大切なのは利用者さんだけではありません。一人で頑張らずに皆の力を分けてもらいましょう。スマホ購入の際には、当連絡協議会LINEに参加している仲間を見つけて“ふるふる”しましょう。

会員の方に連絡します。一人で悩んでいるケアマネジャーさんやバーンアウトしてしまう方が急増しています。気になる方を見かけたら、仲間がいるよと声をかけてください。ケアマネジャーさんの孤立防止にご協力下さい。